

2008年度 第3回理事・企画委員会 議事録

-
- 日時: 2008年9月27日 11:00~12:30
 - 会場: 広島国際大学 黒瀬キャンパス2号館4階演習室
 - 理事総数: 15(他監事2、企画委員6)

出席者:

- ・理事(10): 田村、宮尾、安藤、大森、岡田、木暮、渋谷、田中、丁井、萩原
- ・監事(1): 松沼

委任状提出者:

- ・理事(5): 赤松、川野、大門、長谷川、伊藤、
- ・企画委員(1): 大杉

(敬称略)

<報告事項>

報告1 会員動向

田村会長より、会員数動向ならびに会費未納者についての報告がなされた。

報告2 シンポジウム「モバイル08」会計報告

田村会長より、収支表に見るように、本年は収支がほぼ釣り合った旨、説明された。
決算表の書式は今後統一する。

報告3 ISSN取得、学会誌発刊の進行状況 および 国会図書館への寄贈

田村会長より、以下の2件の国際標準逐次刊行物番号 (ISSN) を取得した報告がなされた。

- ・「シンポジウム モバイル研究論文集」 ISSN-1883-2024
シンポジウム「ケータイ・カーナビの利用性と人間工学」研究論文集は先行出版物として登録
※1998年から2008年分まで納本済み
- ・Jstage 「モバイル学会誌」(オンライン) ISSN-1882-8965
「ケータイ・カーナビの利用性と人間工学」研究論文集は先行出版物として登録
※1998年から2008年分まで納本済み

田村会長より、第1号発行に向けて準備中との報告がなされた。

報告事項に関する質疑応答

ここまででの報告事項に関して以下のような意見があった。

- ・シンポジウム参加者を会員に勧誘した方が良いのではないかな?
- ・会員は多いが、大会参加者が少ない学会もある。
- ・安定した収入を得るためには会員を増やした方が良いのでは?
- ・参加者200名ならば、学会業務をまかなうことができる。

報告4 学会誌、シンポジウム論文集等の執筆要項の件

学会誌、論文集の電子化を視野にいて、執筆要項、ガイドライン(図表の使い方)の整備を行った結果が報告された。

報告5 シンポジウム モバイル 09 準備報告

- ・会場：キャンパスプラザ京都
- ・日程：2009年3月17日(火)～18日(水)
- ・発表〆切：2008年11月30日(日)
- ・原稿〆切：2009年1月30日(金)

報告6 第6回モバイル研究会 現況報告

丁井理事より、研究発表6件、資料配布はPDFとしたとの報告がなされた。

報告7 協賛事業

- ・NPO ウェアラブルコンピュータ研究開発機構交流会(チームつかもと)協賛の件
出席者：20名、阪大から2件、
モバイル学会からは田村会長と大森理事がそれぞれ研究発表
- ・電子情報通信学会中四国支部学生会イベント協賛の件
ケータイアワードコンテスト
審査員として丁井理事と木暮理事が参加

報告8 HCII 2009 San Diego Call for Session (田村会長)

前回(北京)は3セッションを提案した
研究者登録システムが稼働開始しているので遅くなりすぎない内に登録したい。
投稿予定の方は田村会長宛に Title、 Authors、 abstract を連絡のこと

以上の報告について、質疑を含めて承認された。

<審議事項>

議題1 シンポジウム「モバイル'09」の件

- ・ポスター⇒検討中
何か良いアイデアがあれば出して欲しい。
安藤理事経由で学生に打診
- ・編集担当委員⇒検討中
なお、シンポジウム講演者は幅広い分野から集まっており、論文の書き方に問題のある場合がある。学会としてシンポジウム論文の質をある程度以上に保つためには、ある程度のチェックが必要と思われる。事務局でチェックして問題があると思われる論文については、著者へのアドバイスを理事の方をお願いしたい。このことに関連して、「執筆要項」および「図表の使い方」が紹介された。
- ・特別講演および企画講演⇒検討中

- ・シンポジウム論文集の編集について
表現調整：理事・企画委員が分担
製版チェック：渋谷研が担当

議題2 理事会・通常総会の日程の件

議題3 第7回モバイル研究会の件

- ・2つの議題を一括審議した。まず、資料に基づき木暮提案がなされた。
「最先端モバイル技術・サービスを世界へ」～モバイル応用研究、産学官民連携の模索と推進～
- ・提案は意欲的であるが、BBA主体の企画であり、学会の活動計画に沿っていない。
- ・BBAの企画には協賛するのは良いとしても、本学会活動としての通常総会・研究会をそれなりに構成する必要がある。
- ・審議の結果
通常総会を開催日2009年1月9日(金)あるいは10日(土)に予定。
理事会を併催とした。研究会の形式・内容については再検討とする。

議題4 執筆要項など

執筆要項（‘09執筆要項、学会誌執筆要項）

ガイドライン（図表の使い方）

について、具体的な内容について説明され、審議され、承認された。

議題5 その他

- ・都築事務局員が産休のため、次の適任者が見つかるまで遠隔オフィス方式で事務局を運営する予定。
- ・監事の交代：三浦監事（大阪大学）から伊藤肇監事（矢崎）へ交代

(以上)